



2007年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第9戦 鈴鹿サーキット
2007 予選 決勝
Formula NIPPON 11/17 SAT. **18 SUN.**

鈴鹿サーキット国際レーシングコース 1周 5.807km

- 大会名称：2007年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第9戦 鈴鹿サーキット
- 同日開催：2007年 フォーミュラチャレンジ・ジャパン(FCJ) 第17戦&第18戦 / 2007年 西日本フォーミュラ4選手権シリーズ 第6戦
ホンダ エキサイティング カップ ワンメイクレース 2007 ~インテグラ・インターシリーズ~ 第6戦
- 主催：鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社 モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 社団法人 日本自動車連盟(JAF)
- 後援：東京中日スポーツ / 中日スポーツ / 中日新聞社



鈴鹿サーキットでは、11月17日(土)・18日(日)にフォーミュラ・ニッポン2007年シリーズ最終戦となる第9戦を開催いたします。第6戦終了時点で上位6名のドライバーが12ポイント差で争っており、この戦いは最終戦までもつれ込むことが予想されます。また、未来のトップドライバーを目指す若者たちが激しい戦いを繰り広げるFCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)最終戦、そして、西日本フォーミュラ4、インテグラ・インターシリーズもここ鈴鹿サーキットで最終戦を迎えます。

今回もE席前のサーキットビジョン増設や、チームサポーターズシートなど、より快適で魅力的な観戦環境をご用意！ 楽しく魅力的なイベントも盛りだくさん！ ファミリーで、カップルでぜひ鈴鹿サーキットへお越しください。

フォーミュラ・ニッポン

最終鈴鹿決着は必至！ 松田次生かB・トレルイエか、本山哲か、それとも小暮卓史か！ 混戦のタイトル争いを制するのは誰だ!!



ランキングトップ
松田次生

まさに接戦、混戦。今シーズンのフォーミュラ・ニッポンはここまで全9戦中6戦を終えて、ただひとり本山哲(アラビアンオアシス・チームインパル)が2勝を記録しているが、シリーズチャンピオン争いでは23ポイントの3位。ランキングトップは表彰台4回を記録した松田次生(モバイルキャスト・チームインパル)で33ポイントを獲得。チームメイトで昨年のチャンピオン、B・トレルイエが1勝、2位2回を記録して2ポイント差の2位。最強インパル勢がトップ3を占めているが、今年はその後にライバル勢が小差で続いているのだ。BOSSインギングのR・クインタレッリが本山と同ポイントの3位タイ。DHGTムスのA・ロツテラーが22ポイントの5位。6位、7位にホンダエンジン勢の小暮卓史、L・デュバル(ともにPIAAナカジマ)がつけ、21ポイント、17ポイントで追う展開。トップ松田から6位小暮までが12ポイント差にひしめいているのだ。



ランキング2位
B・トレルイエ

昨年はインパル勢を筆頭にトヨタエンジン勢が速さを見せたが、今季は第3戦でそのインパル勢本山、松田を豪快に抜き去って、小暮が優勝したようにホンダエンジン勢も互角以上の強さを見せている。インパル勢は上位につけているとはいえ、トレルイエは開幕戦で勝って以来優勝がないし、松田は堅実に表彰台に登っているが、未だ優勝がない。ライバルたちが本来の力を発揮し始めた結果だ。特に終盤戦で注目したいのはホンダ勢。小暮、デュバルともに、得意とするツインリンクもてぎ、鈴鹿が第8戦、最終第9戦だけに、ランクトップに迫るのは確実。タイトル争いは接戦のまま最終鈴鹿ラウンドにもつれ込むのは間違いないだろう。最後に笑うのは松田か、トレルイエか、本山か。それとも小暮か。鈴鹿サーキットに詰めかけたファンが、その瞬間の目撃者となる。



ランキング3位タイ
本山哲



ランキング3位タイ
R・クインタレッリ



ランキング5位
A・ロツテラー



ランキング6位
小暮卓史



ランキング7位
L・デュバル

王道の1回か、奇策の2回か！

今シーズン初の300kmレースはピットイン戦略が勝敗のカギを握る!?

今シーズン鈴鹿サーキットで行われた2戦(第2戦、第5戦)はいずれも250kmのレース距離で争われたが、この最終戦は300kmの距離で争われる。この50kmが大きなポイントとなるのだ。開幕戦はほとんどの選手がピットインなしで走り切ったが、気温が上がリタイヤにかかる負担が大きい夏の第5戦は、逆に多くのチームがピットインしてタイヤ交換、ガソリン補給をする作戦をとった。同じレース距離でも状況によって作戦は変わる。そして秋の最終戦。増えた50kmがタイヤにも、ガソリン消費にも大きな影響を与える。スタート時のガソリン搭載量は122リットルに制限されている。1リッターで走れるのは約1.9kmといわれており、300kmを走り切るのに、単純計算で158リットルが必要となる。途中1回のピットインで40リットルあまりを給油すれば足りるが、常にガソリンを多く搭載した状況で走らなければならない、タイヤにかかる負担も大きい。そこで考えられるのが2回ピットインする作戦だ。これは同じ300kmで争われた、第3戦のツインリンクもてぎで小暮卓史が敢行して見事優勝。ガソリンタンクが常にライバルより軽い状態で、タイヤも2回交換なら最後まで本来のグリップ力を発揮できるわけだ。ただし1回余分のピットインロスタイムをコース上で稼ぎ出さなければならない。小暮の成功でライバルチームも様々な作戦を実行してくると思われる。果たして1回か、それとも2回か、ピットイン作戦が勝敗の行方を大きく左右することになりそうだ。



FCJ (フォーミュラチャレンジ・ジャパン)

FCJ(フォーミュラ・チャレンジ・ジャパン)も鈴鹿最終決戦!

国本京佑か中嶋大祐か、それとも…。タイトルの行方に注目だ

ランキングトップ
国本京佑



ランキング2位
田中誠也



2年目を迎えたFCJ(フォーミュラ・チャレンジ・ジャパン)は、レース数、参加台数とも増え、上位争いは大接戦となっている。1大会2レースが実施され、全18戦で争われるが、第12戦が終了した時点で国本京佑が2勝をマークし139ポイントを獲得してランキングトップ。これを1勝の田中誠也が114ポイントで、最多の4勝を記録した中嶋大祐が106ポイントで追う展開。ランク4位以下も井口卓人が99ポイント、山本尚貴が98ポイントで続いている。FCJは優勝が20ポイント、



ランキング3位
中嶋大祐

2位以下も10位まで15、12、10、8、6、4、3、2、1ポイントが与えられるため、上位に入ればその差は一気に縮まる。上位陣で注目したいのが中嶋。今季開幕戦、中嶋にとってはデビュー戦となった鈴鹿でいきなりポール・トゥ・ウィンの快挙を達成。その後も第9戦の鈴鹿で優勝を記録。昨年SRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ)を卒業し、スカラシップを獲得しただけに、鈴鹿はまさにホームコース。これはランク2位の田中、ランク5位の山本も同じ。それぞれ05年、06年にSRS-Fを卒業。大きな自信とともに鈴鹿に乗り込んでくるわけで、逆転のタイトル獲得も大いに期待できるのだ。いずれにせよフォーミュラ・ニッポン同様、大接戦のまま鈴鹿最終決着となりそうだ。

インテグラ・インターシリーズ / フォーミュラ4

来年はシビック・タイプRに移行。見逃せないインテグラ・インターカップ、ラストバトル

ホンダ・エキサイティングカップワンメイクレース2007 ~インテグラ・インターシリーズ~ 第6戦が開催されるが、インテグラ・タイプRによるバトルはこれが最後。現在全国のサーキットを転戦して争われるインターシリーズ。ツインリンクもてぎ、富士スピードウェイ、スポーツランドSUGO、仙台ハイランドを舞台とする東日本シリーズ。鈴鹿サーキット、岡山国際サーキットを舞台とする西日本シリーズが開催されているが、いずれのシリーズも来年はシビック・タイプRで争われることが決まっている。最もハイレベルな戦いがくり広げられているインターシリーズは、今回が最後(西日本は11月11日鈴鹿ラウンド、東日本は11月4日富士ラウンドが最終戦)となるわけだ。これまで最速のワンメイクレースとして数々の名勝負を生み出してきたインテグラバトル。最後の激戦をぜひ、その目に焼き付けてほしい。



インテグラ

また、フォーミュラレースの登竜門、フォーミュラ4(F4)の西日本シリーズ第6戦も開催される。今シーズン最終戦となるため、いつも以上に激しいバトルを繰り広げることだろう。

●S1・S2・Eエリア● サーキットビジョンで快適観戦

ご好評につき第9戦でも、E席向けのサーキットビジョンを追加。サーキットビジョンの映像で展開を確認しながら、それぞれのエリア席で様々な角度からのご観戦をお楽しみください。

※E席向けの仮設ビジョンは、日曜日だけの放映となります。

レースが10倍面白くなる!? Pit-FM活用術

携帯FMラジオ(とイヤホン)を、ぜひ会場に持ってきてね!

モンスターマシンの爆音の中、場内実況が聞き取れない場合でも携帯FMラジオがあれば安心。主要な観戦席に場内実況の音声ラジオの周波数に乗せ配信する『Pit-FM』はレース観戦の定番だ。レース初心者にはわかりにくいペナルティやレース展開をより分かりやすく実況する『ビギナーおまかせ大放送774』も放送!

- 周波数76.0MHz・・・場内実況放送
- 周波数77.4MHz・・・ビギナー観戦者用放送

秋の鈴鹿はレースもイベントも楽しさいっぱい！

● 往年の名ドライバーによるエキシビジョンレース “マスターズ・オブ・フォーミュラ” 開催！ ●



チーム監督や往年の名ドライバーによるエキシビジョンレース、マスターズ・オブ・フォーミュラが11月18日(日)決勝日のピットウォーク時に開催される。使用マシンモテラだ。元F1ドライバーや、海外で、国内で、激しい戦いを繰り広げてきたドライバーたちは、当時にタイムスリップした熱い走り、なつかしの名勝負を見せてくれるかもしれない。

11月18日(日) ピットウォーク中開催(予定)

※当日のマシンの状況や天候などにより、車両の変更や中止する場合がございます。
※ドライバーは都合により参加できない場合がございます。

■ 参加予定ドライバー ■



中嶋悟氏



星野一義氏



鈴木亜久里氏



近藤真彦氏



木下正治氏



森本晃生氏

● 鈴鹿サーキットでHonda「フィット」が当たる！ ●

フォーミュラ・ニッポン全レースで、決勝レースの指定された順位を予想して応募すると、なんと当選者の中から抽選でHonda「フィット」が当たる順位当てクイズがおこなわれる。

応募方法(2種類)

■ フォーミュラ・ニッポン公式HPから応募

応募期間: 11月2日(金)~11月15日(木)24:00まで

■ 当日鈴鹿サーキット内特設ブースでの応募

応募期間: 11月18日(日)13:30まで

※詳細はフォーミュラ・ニッポン公式HPをご覧ください。



※イメージ

● シーズンエンド・ファンミーティング ●

ファンがドライバーやチーム関係者とふれあえるイベントシーズンエンド・ファンミーティングが決勝終了後の夕刻に開催されます。この席上では第9戦の正式表彰式が行われます。



※11月18日(日)決勝日の夕刻、鈴鹿サーキット「フラワーガーデンホテル」内パーティー会場にて。

※イベントの詳細、参加料金、お申込み方法などは、後日鈴鹿サーキット公式HPにてご案内いたします。

● フォーミュラ・ニッポン ステージイベント ●



ドライバーの生の声が聞ける「ドライバートークショー」、レースに花を添える鈴鹿サーキットクイーンやキャンギャルが登場する「キャンギャルオンステージ」など、必見のステージイベントがグランプリスクエア特設ステージにて開催される。



■ 日時: 11月17日(土)・18日(日) 時間未定

■ 場所: グランプリスクエア 特設ステージ

● NARUMIYA Presents グリッド キッズ ●



大観衆の注目を浴びて、決勝レースの直前のマシンとドライバーに最も近い場所に立つという絶好のチャンス！

※募集要綱は後日鈴鹿サーキット公式HPにてご案内いたします。

※イベントの内容は変更になる場合がございます。

お得な前売り観戦券は9月18日(火)発売開始！

前売り観戦券 (税込)		
大人 (パスポート付き)	ペア(大人2名) (パスポート付き)	中高生 (入場のみ)
5,000円	9,000円	1,600円
前売り指定席券 (税込) 決勝日のみ有効・別途観戦券必要		
V席	S1・S2・Eエリア	
5,000円	1,500円	
チームサポーターズシート観戦券 (税込) S1・S2・Eエリア付き (決勝日のみ有効)		
大人(パスポート付き)	中高生(入場のみ)	
6,000円	1,600円	

前売りファミ得チケット (税込) S1・S2・Eエリア付き (決勝日のみ有効) パスポート付き (土・日いずれか1日)		
大人2名 + 子供1名(3歳以上高校生以下)	追加券 大人	追加券 子供 (3歳以上高校生以下)
13,000円	6,000円	3,000円
前売リア指定席券付き観戦券 (税込) S1・S2・Eエリア付き (決勝日のみ有効) パスポート付き (土・日いずれか1日)		
大人観戦 + S1・S2・Eエリア		6,000円

当日観戦券 (税込)		
	大人	3歳以上、高校生以下
予選日(土)	ゆうえんち入園料	
決勝日(日)	6,000円	ゆうえんち入園料

当日指定席券 (税込)	
決勝日のみ有効・別途観戦券必要	
V席	S1・S2・Eエリア
5,500円	2,000円

※3歳～高校生以下の当日券はゆうえんち入園料となります。★中高生/1,600円・小学生/800円・3歳～未就学児/600円

※高校生以下の方は、S1・S2・Eエリアへ無料でご入場いただけます。

※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。

※指定席券は決勝日のみ有効です。

※ペアチケットは前売りのみの発売で、2名セットとなります。

※エリア指定席券付観戦券は前売りのみの発売となります。

※エリア指定席券ご購入のお客は、グランドスタンド前とE席前のサーキットビジョンにてレースを快適にご観戦いただけます。

※V指定席券をお持ちの方は、VIPテラス・S1・S2・Eエリアへの入場ができます。

※V席をご利用の場合、3歳以上共通料金となります。

※VIPテラスのご利用は、V席指定席側から入退場をお願いします。(VIPスイートにあるエレベーターはご利用いただけません。)

※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は販売いたしません。お早めにお求めください。

※チームサポーターズシートはインターネットSUZUKA ONLINEのみで、10月18日(木)より販売となります。

VIPスイート(パーソナル販売) (税込)
土・日2日間有効・観戦券込
30,000円

特典:グランプリスクエア駐車券・スペシャルランチボックス(決勝日のみ)・フリードリンク・大会プログラム・お土産(特製マグカップ、他)・グリッドウォーク・スペシャルバスツアー付き。

※3歳以上有料(飲料・食事は大人同様となります。)

※駐車券は、4名様までのお申し込みにつき、1台分となります。

※パドックアクセスは、パドックパスBの扱いとなり、パドック・ピットウォークがお楽しみいただけます。またS1・S2・Eエリア観戦席でご観戦いただけます。(ピット上への入場はできません)

※VIPスイートは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申込み後のキャンセルは一切できません。

スペシャルボックス (税込)	
1室/2名様まで	1室/3名様以上
15,000円	25,000円

特典:人数分のピットウォーク券、プログラム(1室1冊)付き。

※開催当日現地にて販売となります。前売り販売はございません。

※1室6名様までのご利用となります。

※別途人数分の観戦券が必要です。

パドックパス (税込) 別途観戦券必要		
	大人(中学生以上)	子供(3歳～小学生)
パドックパスA	12,000円	2,000円
パドックパスB	6,000円	1,500円

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※パドックパスAはピット上ホスピタリティーブースでもご観戦いただけます。パドックパスBはピット上へのご入場がいただけません。

※パドックパスをご購入いただいたお客様は、S1・S2・Eエリアでの観戦、激感エリアへのご入場、ピットウォークもお楽しみいただけます。

※ホスピタリティーブース上から直接ピットウォークの並び列にお入りいただく事はできません。パドックの並び列より、順番にお並びいただけます。

※前売パドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

ピットウォーク券 (税込)		
	大人(中学生以上)	小学生以下
予選日(土)	2,000円	無料
決勝日(日)	2,000円	無料

※開催当日現地にて販売となります。前売り販売はございません。

※ピットウォーク時に、脚立の持込はご遠慮ください。

■ご案内:

※前売り観戦券、前売りファミ得チケット、前売りエリア指定席券付き観戦券をお持ちの方は、11月16日(金)もご入場いただけます。

チケットのお求めは		券種によってお取り扱いのない窓口もございます
■鈴鹿サーキットレースチケットセンター	9月18日(火)～11月17日(土)まで(販売時間 10:00～17:00)	
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100	10月18日(木)～11月11日(日)まで(販売時間 10:00～16:00)	
■インターネット SUZUKA ONLINE [http://www.suzukacircuit.jp/]	10月18日(木)～11月11日(日)まで(24時間受付)	
販売期間:9月18日(火)～11月17日(土)(一部販売期間が異なる店舗がございます。)		
●電子チケットぴあ ●セブンドリーム・ドットコム ●イープラス ●CN プレイガイド ●ローソンチケット ●セブンイレブン ●ファミリーマート ●サークルK ●サンクス ●am/pm ●全国主要プレイガイド ●JTB ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行 ●トップツアー ●名鉄観光 ●鈴鹿サーキット各営業所<東京・名古屋・大阪・三重>		
※コンビニには時間帯に制約があります。※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。		
チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)		